

2016年5月30日

各位

積水ハウス株式会社

代表取締役社長：阿部 俊則

本社：大阪市北区大淀中1-1-88

積水ハウスグループの持続可能性報告書 「Sustainability Report (サステナビリティレポート) 2016」発行

積水ハウス株式会社は、グループ経営上の重要事項である環境・CSRに関する取り組みをまとめた、持続可能性報告書「サステナビリティレポート2016 (※1)」を発行しました。特徴は以下の通りです。

- 1) 投資家などのステークホルダーに対して、財務情報と非財務情報(環境・社会に向けた取り組み、コーポレートガバナンスなど)の関連性を「統合報告パート」としてまとめています。
- 2) 「CSV (※2)戦略」のページでは、事業活動を通じた中長期的な価値創造に向けて、重点的に取り組む六つのテーマを特定し、テーマごとに「目指す姿」「活動方針」「2015年度の活動報告」「主要指標の実績と自己評価」などを開示しています。
- 3) 本年度版で初めて「GRI サステナビリティ・レポート・ガイドライン 第4版 (G4)」の「中核」に準拠しています。

※1 年次報告期間は2015年2月1日～2016年1月31日。2016年度の活動も一部含まれます。

※2 「Creating Shared Value (共有価値の創造)」の略。社会課題の解決と企業の利益、競争力向上を両立させ、社会と企業の双方に価値を生み出す取り組み。



< 「サステナビリティレポート2016」の主な掲載内容 >

《A4版カラー・全78ページ》

● 統合報告パート

- ・トップコミットメント ・当社グループが創造してきた価値と自社取り組みとの関係を図で表現(財務・非財務の結合性)
- ・積水ハウスグループ独自の強みを具体的な数値で表現 ・中期経営計画とCSV戦略 等

● 積水ハウスグループのCSV戦略

CSV戦略	主な実績
① 住宅のネット・ゼロ・エネルギー化	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス「グリーンファースト ゼロ」が全新築戸建住宅の70.9%、1990年比CO2排出削減率75.5%
② 生物多様性の保全	「5本の樹」計画を開始した2001年からの累積植栽本数1199万本、エクステリア事業の年間売上高603億円は日本一
③ 技術開発・生産・施工品質の維持・向上	制震システム「シーカス」搭載率94.0%、空気環境配慮仕様「エアキス」搭載率85.5%、教育訓練センター・訓練校修了者累計2480人
④ アフターサポートの充実による住宅の長寿命化	リフォーム事業売上高1344億円(日本一)、優良ストック住宅「スムストック」の売却契約740件(前年比約1.5倍)
⑤ ダイバーシティの推進と人材育成	グループ女性管理職114人(前年比13人増)、男性育児休業取得者162人(前年比43人増)
⑥ 海外への事業展開	アメリカ、オーストラリア、中国、シンガポールの4カ国で、当社が培った強みを生かして事業展開。2015年度の売上高は895億円

さらに詳しい情報をWEBサイト(<http://www.sekisuihouse.co.jp/sustainable/>)で同日(16:00)開示します。

積水ハウスグループは今後も、環境・CSRに関する取り組み内容を積極的に開示し、ステークホルダーの皆様の期待に応えるとともに、持続可能な社会の構築に寄与してまいります。